

防災対策を通して学ぶ「備え」と災害の恐ろしさ

自然災害による被害を可能な限り少なくするためには、一人ひとりが自ら取り組む「自助」、地域や身近にいる人同士が助け合って取り組む「共助」、国や地方公共団体などが取り組む「公助」の3つが大切だと言われています。その中で最も重要なのが「自助」。「自分の命は、自分で守る」という意識で、一人ひとりが自分の身の安全を確保することを意味します。災害が発生したときは、まず自分が無事であることが重要となります。「自助」に取り組むにあたって、いつ起こるか分からない災害に備え、安全対策を講じておくと同時に、自然災害に遭遇したときの身の守りかたや防災対策に関する知識を学んでおくことが重要です。

防災対策に十分や絶対に大丈夫といったことはありません。4.5ページで紹介した対策だけではなく、自宅周辺の災害リスクの認識と自分と家族にとって何が本当に必要なかを考え備えましょう。

福智町防災ハザードマップを更新

町民の皆さまに、風水害や台風、洪水、土砂災害等に関する情報を提供し、災害に対する備えに役立てていただくことを目的に作成した福智町防災ハザードマップを令和6年2月に更新しました。洪水浸水想定区域の追加や避難場所の一部変更などがありますので、各自でしっかり確認をし、自分の命や大切な家族を守るため、家族みなさんでこの福智町防災ハザードマップをご活用ください。



Web版ハザードマップ



冊子版ハザードマップ

● 防災ハザードマップの活用方法

02. 自宅周辺の危険箇所やリスクを確認

自宅周辺に洪水浸水想定区域と土砂災害警戒区域があるか確認 ▶ P23～33 ハザードマップ

01. どこに避難所があるのかを確認

避難施設一覧で確認 ▶ P19～20 施設一覧
ハザードマップで確認 ▶ P23～33 ハザードマップ

4. 避難する際の持ち出し品の確認

非常持ち出し品を確認しましょう。
▶ P13～14 防災対策と非常時の持ち出し品の準備とチェック

03. 各機関が発信する防災情報の確認

役場、国や県などが随時発信する正確な情報を確認しましょう。
▶ P15～16 防災情報の収集

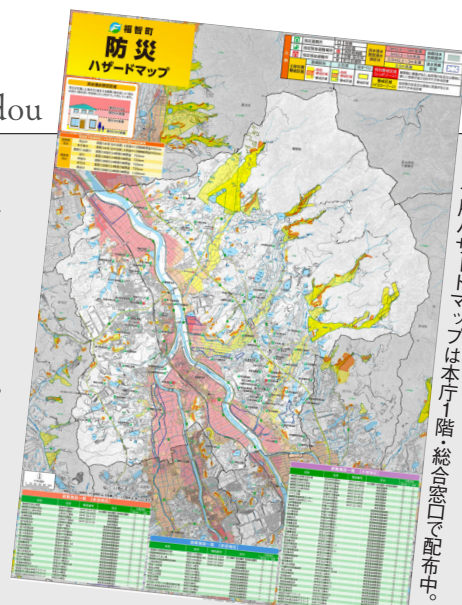
福智町ハザードマップの更新・作成に協力した▶

株式会社ゼンリン 工藤 俊一 氏 Shunichi Kudou

今回の福智町ハザードマップの更新では、福智川と弁城川、伊方川などの県河川の洪水浸水想定区域が令和4年に公表されたため追加しました。浸水エリアじゃない地域も災害リスクは全くないというわけではありません。みなさんにはハザードマップをご活用いただき、災害リスクを想定して備えを行ってください。「もしも」に備え、気を抜かずしっかりと避難場所の確認などを行ってください。

冊子版ハザードマップは本庁階・総合窓口で配布中。

ハザードマップを活用し「もしも」から命を守る



冊子版ハザードマップは本庁階・総合窓口で配布中。

災害から命を守るために いつもの「備え」が、いつかの「助け」に。

いつ起こるかわからない災害は、予想できない想像以上の被害をもたらします。災害時にスムーズに行動できるよう、普段からできる備えをご紹介します。

2 食料・飲料などの備蓄品は十分ですか？

災害で電気やガス、水道などのライフラインが止まった場合に備え、普段から日常生活で利用している食品や飲料水、保存の効く食料などを備蓄しておきましょう。

※一週間分の食料を備蓄するのが望ましい。

● ローリングストック法

ローリングストック法とは、【蓄える→食べる→補充する】を繰り返しながら一定量の食品を備蓄すること。ふだん食べている食料を少し多めに買い、賞味期限の古いものから消費するので、誰でも無理なく簡単に始めることができます。



1 ご家族同士の安否確認方法と避難場所や経路は確認していますか？

災害が発生した場合に備え、日頃から安否確認の方法や集合場所、避難場所、避難経路を事前に話し合っておきましょう。災害時には連絡がとれない場合があります。その際には以下のサービスを利用しましょう。

▶ 災害用伝言ダイヤル(171)

局番なしの「171」に電話をかけると伝言を録音でき、自分の電話番号を知っている家族などが、伝言を再生できます。

▶ 災害用伝言板

携帯電話から伝言板を使用して情報を登録し、電話番号を知っている家族などが、情報を閲覧できます。

4 災害レベルを理解し的確な避難行動をしましょう。

警戒レベル	行動を促す情報	災害時とるべき行動
5	緊急安全確保	命が危険ですので、直ちに身の安全を確保しましょう。

～警戒レベル4までに全員必ず避難を！！～

4	避難指示	速やかに危険な場所から避難をしましょう。
3	高齢者等避難 災害のおそれあり	避難に時間を要する人は避難をしましょう。
2	洪水注意報 大雨注意報等	自らの避難行動を確認しましょう。
1	早期注意情報	災害への心構えを高めましょう。

3 非常用持出袋であらかじめの準備できてますか？

自宅が被災したときは、安全な場所に避難し避難生活を送ることになります。非常時に持ち出すべきものをあらかじめリュックサックなどに詰めておきましょう。

CHECK LIST

- | | |
|-------------------------------------|------------------------------------|
| ☐ 飲料水・保存食 | ☐ 救急用品 |
| ☐ 防災用ヘルメット | ☐ ブランケット |
| ☐ 衣類・下着 | ☐ ウェットテッシュ |
| ☐ レインウェア | ☐ 軍手・タオル |
| ☐ 懐中電灯 | ☐ 洗面用具 |
| ☐ 予備電池・携帯充電器 | ☐ 歯ブラシ・歯磨き粉 |
| ☐ マッチ・ろうそく | ☐ ペン・ノート |

※ 状況に応じて物品を準備してください。